

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17015	都市計画道路整備事業(和賀白川線)		課名	土木課 施設整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備			款	08:土木費
	施策の方向	01:幹線道路の整備			項	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		03:道路新設改良費	
事業予定期間	H 17 ~ R 7 年度	主な根拠法令要綱等		道路法、道路構造令		

目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	当路線は県道鈴鹿関線、国道306号、市道亀田川合線、市道亀田小川線、住山11号線で結節された市内環状線として位置づけられており、環状線は本市における産業発展と市民生活の根幹を担う重要な道路ネットワークである。国道1号から県道鈴鹿関線の区間については平成25年度までに開通しており、国道1号から北側部分と住山11号線を含めた区間を整備する。
概要	(北区間) 幅員9.5m ~ 12m(2車線、片側・両側歩道) 延長L = 800m	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	用地交渉		工事 ・亀山市斎場線	設計 ・修正詳細設計  工事 ・和賀白川線 ・住山団地31号線 ・住山住宅浄化槽移転	
	年度実績		○工事 ・亀山市斎場線L = 140m		
事業の計画・実績	計画額	事業費		60,000千円	89,000千円
		国庫支出金		30,000千円	42,500千円
		県支出金			
		地方債		27,000千円	38,200千円
		その他			
	予算額	事業費		27,000千円	
		国庫支出金		13,500千円	
		県支出金			
		地方債		12,200千円	
		その他			
	決算額	事業費		26,430千円	
		国庫支出金		13,069千円	
		県支出金			
		地方債		11,800千円	
		その他			
人件費	一般財源	0千円	3,000千円	8,300千円	
	総人件費	0千円	7,839千円	0千円	
	一般職員	0千円	7,839千円	0千円	
	所要人員		1.00		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		0千円	34,269千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	整備進捗率	74	77	80	
		実施済み事業費/総事業費	計画値			
			実績値		77	
		単位	%	%	%	
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			
	名称		計画値			
			実績値			
		単位				

事業の改善	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

		評価	(判定)
事業の評価	活動	[計画どおりに実施できたか] 和賀白川線本線の取付道路として亀山市斎場線の一部区間の工事を完成させた。また、令和2年度の補正予算に伴い、国より33,000千円が交付されたため、繰越を行い、和賀白川線本線の工事進捗を図る。	B まずまず実施できた
	成果	[成果は順調に上がったか] 亀山市斎場線の一部区間の工事が完成し、部分供用を計画的に行うことで、安全性の向上と交通の円滑化が図れた。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	[課題は何か] 当該事業の財源見直しにより、交付金事業として進めていくこととなったため、JA鈴鹿葬祭会館北側から市道亀田小川線までの区間(約L=560m)において、両側歩道から片側歩道に事業計画を変更する必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	[課題に対し、どのように対応するか] 財源変更に伴い、両側歩道から片側歩道に事業計画の変更する必要があるため、早期に修正設計業務を発注する必要がある。	
	効果	[対応することで、どのような効果が期待できるか] 早期に修正設計業務を発注及び完了させることで、今後の事業進捗が図られる。また、当路線は産業発展と市民生活の根幹を担う重要な道路ネットワークであり、部分供用又は全線供用時点において、移動時間の短縮、安全性の向上、交通の円滑化等の成果が発現される。	
対応時期		令和3年度	

[1次評価者]	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 村田 和隆
[最終評価者]	産業建設部 土木課長 宮崎 伸二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動		B		B	
	成果		B		B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		27,000 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	0 千円
	令和2年度の最終予算額	60,000 千円
	令和3年度への繰越額	33,000 千円